

園だより10月号

令和8年10月1日
社会福祉法人 愛光会
ハローこども園
浜松市中央区下江町522
電話(053)425-5586

10月の予定		
1	木	衣替え
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	体操教室 身体測定（めだか・うさぎ組）
6	火	英語であそぼう（つき組）
7	水	親子ひろば（口を育む教室）
8	木	身体測定（ひよこ・ほし組）
9	金	運動会リハーサル
10	土	
11	日	
12	月	スポーツの日
13	火	園外保育の日（お弁当） 身体測定（りす・つき組）
14	水	平日職員会議
15	木	園長会
16	金	
17	土	運動会
18	日	
19	月	
20	火	英語であそぼう
21	水	親子ひろば 内科健診
22	木	音楽教室
23	金	お作法教室（つき組）
24	土	
25	日	
26	月	体操教室
27	火	交通安全教室（つき組）
28	水	親子ひろば 以上児誕生会 保育料口座引き落とし日
29	木	避難訓練
30	金	
31	土	

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋…楽しみの多い季節がやってきました。動きやすい季節になりましたが、まだまだ汗をかくことがあるので着替え等体を冷やさないよう体調面に気をつけていきたいですね。



秋の制作（ひよこ組） きのこを作ったよ♪

?ハロウィンってなあに？

毎年10月31日はハロウィンで、秋の収穫を感謝するお祭りの日とされています。

昔から古代ヨーロッパのケルト民には、秋の収穫を祝うとともに悪霊を払うお祭りがありました。目や口をくり抜いたおぼけのカボチャを外に置くのは、悪い霊を怖がらせて追い払うためだそうです。また、お菓子をもらって歩くのは、お祭り用の食糧をもらって歩く様子を真似したそうです。



◎衣替えについて

10月1日（木）より衣替えになりますが、10月は移行期間になりますので、園服の着用はご家庭の判断にお任せします。11月からは以上児全園児着用になりますのでよろしくお願いします。

◎運動会について

総会でもお知らせした通り、りす・うさぎ・ほし・つき組が対象です。

◎保育参加について

運動会以降（10月19日～）再開します。

保育参加ご希望日を希望の方は、希望日の一週間前までにお申し込みください。保育参加には、祖父母の方も参加出来ますので、ご都合が合いましたら、ご参加ください☆子どもたちも楽しみにしています♪



ハローこども園の学び

～食と環境～

こども園における食育は、子どもたちの食への興味・関心を育てるだけでなく、心と体の発達、社会性、感謝の気持ちを育てる重要な教育活動です。

栽培体験やクッキング及び給食における食への学びを通して、子どもたちは自然と食べ物大切さを理解していきます。

また、保育教諭・栄養士・保護者が協力し、園全体で食育を進めていくことで、より子どもたちの心と体の健康的な成長につながります。

園では、栽培活動からクッキングにつなげた食育計画を立て、子どもたちの“食べる力”を育てる教育をしています。また、そこから発展させてお店屋さんごっこなどの活動につなげていくことで、子供たちの主体性や社会性も育てています。今後も保護者の皆さんと共に子供たちの体の成長を支え、豊かな食の未来につなげていければ幸いです。

今月は、園での栽培活動からクッキング及び買い物ごっこへと発展した楽しい活動の様子を紹介します。

宮野恵理子

トウモロコシの収穫～ポップコーン屋さんの準備

今年の夏もつき組さんは、ポップコーンを作ろうとたくさんのトウモロコシを収穫しました。大収穫だったこともあり、実を取るのとは大変な作業でしたが、みんなで協力してやり抜きました。

せっかくなのでたくさん実が取れたので、ポップコーン屋さんを開いて、こども園のみんなに、食べさせたいと考えたつき組さんは、ポップコーン屋さんを開くために、お客さんが喜んでくれるための準備をみんなで、工夫しました。



お金とポップコーンの準備もできたよ。



いらっしゃいませ。

ポップコーンは、どれも実がぎっしりつまっており、子供たちは、一粒一粒丁寧に実を取りました。

乾燥のさせ方もよかったようで、はじけない実ほとんどなく、味も大好評でした。

ポップコーンには、塩味、キャラメル味、バター醤油味があります。子供たちは、お客さんに分かりやすいように、平仮名の表を見ながら文字を書いたり、絵を描いたりして看板やチラシを作りました。

ポップコーン作りでは、当日保育参加の保護者の方が二人も手伝って下さり大助かりでした。

子供たちのアイデアいろいろ

お店は大繁盛



ペイペイ

小さい子も楽しめるように、顔はめパネルも作りました。



お金やキャッシュレスカードを手作りしてくれたつき組さん。支払いのときもかわいくリアクションしてくれました。

ありがとうございます。



何味にする？

子供たちは、日常生活の中での大人の様子をよく見ていて、それをごっこ遊びの中に反映させています。

日常の食材の買い物や料理等、時間の許す限り、家族と一緒に取り組んだり、思いを伝え合ったりする時間が持てるとよいです。

ハローこども園の学び

～食と環境～

ハローこども園の園庭は、固定遊具が少なく、走る、集まる、自然に触れる、ごっこ遊びを広げるなど、自由に使える空間を重視し、子供が自分で遊びをつくる力を育てることを大切にしています。

何もない空間では子供が自分で遊びを考えやすく、体を動かすことだけでなく、興味や関心に応じてさまざまな遊びを展開することができます。

広い空間では、鬼ごっこ、ボール遊び、縄跳び等の運動遊びをする子供もいれば、土、草木、土山、水、虫に触れるなど自然体験を楽しむ子供もいます。友達と関わる運動遊びでは、自分たちで様々なルールを作り出します。また、園庭の周りや片隅に畑や田んぼ、草むらがあるだけで、チョウやバッタがやってきます。季節の移り変わりや命の多様性に触れて心が動かされる体験が、子供たちの知的な興味関心や探究心を豊かにします。

今月は、園庭で遊ぶ子供たちが、園庭にあるちょっとしたもので、遊びを作り出し、遊びに入り込んで楽しむ様子を紹介します。

宮野恵理子

朝顔で色水づくり

園には、毎年年長さんがひとり一鉢育てている朝顔とみんなで育てている朝顔があり、色水遊びを楽しんでいます。



赤とピンクでこんなに色になった。

赤と紫と青でこんなにきれい。

アリ

園庭のはじっこで、アリを発見！みんなでたくさん捕まえて数を数えています。たくさん捕まえると、誇らしげにバケツに入れ、アリがお腹を空かせてはいけないと、葉っぱも入れていきます。

見て、ありんこ、たくさん捕まえた。

百匹よりたくさんいるね。



砂山を作って、ぴかぴかにするというのですが、どうなるのかな。



ぴかぴかに光る山だよ。

畑で

オクラ！



みんなで協力して根っこから抜いたよ！



ピーマン！



ネコジャラシ

園の草むらで、猫じゃらしを発見！お父さんから教わった技を、S君は友達に教えてくれました。

くすぐったい！



ぼく、もっとおもしろいことできるよ。



にぎにぎ ゆるめて にぎにぎ ゆるめて。

すごい！ぼくもやりたい。

ほら、見て見て、動くよ。



ヒマワリ



ハローこども園の学び

～食と環境～

料理には、食材や料理を見る（視覚）、包丁で野菜を切ったり、煮たり焼いたりする調理音を聞く（聴覚）、調理中のおいしそうなおいをかぐ（嗅覚）、さまざまな食材に触る（触覚）、できあがった料理を食べる（味覚）など、五感が刺激される場面がたくさんあります。料理に関わるだけで五感すべてが鍛えられるので、子どもの感覚を豊かに育てることができます。また、材料の分量や手順を考えたり、焼いたり煮たりした際の化学的なことに興味を持つ等、子供の好奇心や探求心を育てる事にもつながります。

さらに、家庭においては、買い物や料理を手伝うことで、コミュニケーションが活発になり、子供の自己肯定感も高まります。

今月も、園で取れた野菜の調理の様子を紹介します。

宮野恵理子

うさぎ組さんの10分クッキング

ピーマンとナスとちくわの甘辛炒め

子供たちは、毎年自分たちで収穫した取れたての夏野菜を調理して味わっています。うさぎ組の子供たちは、担任の保育教諭が調理する過程を見ながら、野菜を切る音、料理する匂いなどを楽しみ、わくわくしながら、料理の出来上がりを待ち、友達と一緒に味わいました。

五感を働かせて

見る

ナスを切るよ。何色かな？

白

黄色

黄緑

黄緑と白



どんな形？

大きな丸

小さな丸

数や大小の認識

子供たちと一緒に野菜の数を数え、ピーマン5個、ナス1個それにちくわを5本使って調理しました。5本のちくわを切ったら42個に増えてびっくり！10より大きい数だけど、頑張って数えました。

大きいのと小さいのと、いろいろ切るね。

ピーマン嫌い。小さいのがいい。

ピーマン好き。大きいのにして！



匂い

どんな匂い？



苦い匂い

ピーマンの匂い

黒い穴、何かな？

虫がいるのかな？



アリがいた。

切って調べてみよう。

何がいた？



虫は取る。

どうする？



きれいに洗うね。

音 匂い

ジュージュー

お醤油入れるね

匂い変わった！

いい匂い

長い針が8のところまで、混ぜるね



担任は、調理をするだけでなく、子供たちにいろいろな問いかけをしていきます。担任との会話を通して、子供たちは、自分が五感で感じたことを言葉にしていきます。また、調理の過程で数量感覚を養い、化学的な現れにも目を向けさせています。さらに「火は熱いよね。」など家庭での調理を思い浮かべせ、家族が大変な思いをしてわが子のために料理を作ってくれている感謝の気持ちも引き出していました。

出来上がった料理を食べた子供たちは、ピーマンやナスが嫌いな子供も「甘い。」「シャリシャリしておいしい。」「ちくわと一緒にだと食べれる。」など、自分たちが収穫した野菜のおいしさを味わい、喜んでいました。

ハローこども園の学び

～食と環境～

6月になると、梅や琵琶などの木の実や夏野菜などが実り、子供たちの五感やお腹を満たしてくれます。

毎年園外南の畑の梅の木の実を収穫し、梅干しや梅ジュース、梅ジャムなどを作って、楽しんでいます。夏野菜は取れたての物を焼いたりゆでたりして、その物の味を味わうこともあれば、カレーなどクッキングをしてカレーパーティーをすることもあります。

今月は、子供たちのおいしい体験を紹介します。

つき組さん

梅のコンポート

今年は、いつもより早い時期に梅の実が実り、たくさんの梅を収穫することができました。

梅は大変よく熟していて、大きな実が地面にたくさん落ちていました。つき組の子供たちは、たくさん実を持って園に持ち帰り、よく洗ってへそを取り、よく煮て梅コンポートを作って味わいました。

以下は活動のねらいです。

- 梅という食材や梅からできるものを知り興味や関心を持って、梅の収穫体験を楽しむことができる。
- 梅の香りや感触を楽しみながら、収穫した梅を洗ったり、へそを取ったりしてコンポート作りを楽しむことができる。
- 出来上がった梅コンポートを味わい、収穫の喜びや感謝を実感することができる。

こんなに大きいのが取れたよ。



地面にも、こんなにきれいなものが落ちていたよ。



グツグツ
いってる
ねえ！

梅のにおい。
いいにおい！



ほし組さん

あまーい！

かんぱーい！

りす組さん

梅ゼリー

おかわり！



先生が梅ジュースを作ってくれたよ。

すっぱい！



あまーい！



ピーマン・おくら

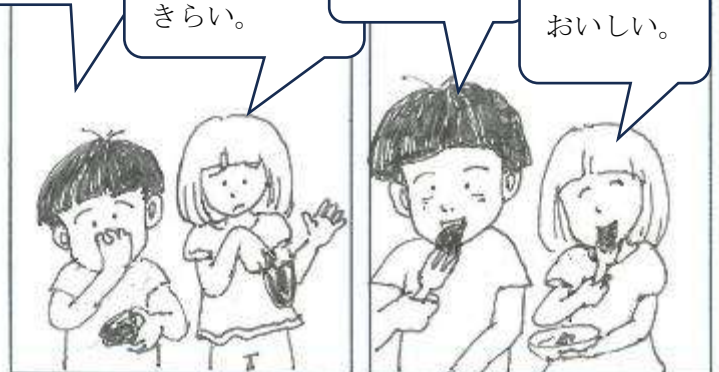


ピーマン嫌い。
臭いもん。

私も苦いから
きらい。

臭くない！

おいしい。



ピーマンとオクラを収穫し、ピーマンは焼いて、オクラはゆでて、頂きました。ピーマンなどの野菜は、嫌いな子も少なくありませんが、自分たちで育てた新鮮な野菜は、みんなおいしく感じるようです。

ハローこども園の学び

～食と環境～

ハローこども園の周辺や園庭では、様々な生き物の命が育まれています。ことに、子供たちは、テントウムシやアゲハチョウ、ダンゴムシなど卵から成虫に、あるいはメジロやシジュウカラ、スズメなど卵から成鳥になる生き物を、日常的によく見えています。

そして、ほとんどの生きものにとって、子を産み、育てることは生命サイクルの中心です。子に食べ物を与え、守り、いろいろな形で生きる術を伝えます。

5月の初旬、南園庭で、そんな野鳥の親子に出会いました。

へびから子を守る

一昨年度のつき組が作った巣箱で、今年もシジュウカラの雛がすくすくと育っていました。子供たちは、雛に餌を運ぶシジュウカラの姿を、よく見かけていました。ところが、その巣箱の中にへびが侵入したのです。

あ！あそこにも。ここにも。
雛がいました！いました。



かわいい。

よかった。

生きてたんだね。

どうやって、逃げたのかな。

お父さんとお母さんが、連れてったんじゃないの。

お父さんとお母さんが、運んだんだよ。

つき組さんにて・・・

シジュウカラが卵を産みました。



お父さんとお母さんは、毎日、何度も何度も、餌をあげます。

5月のある日、へびが巣箱に入り込みました。びっくりして、へびをほうきで追い払いましたが、...

お父さんとお母さんが、先にへびを見つけて、知らせたんじゃないの？

すごい！その通り！シジュウカラのお父さんとお母さんは、いつも敵が来ないか見張っていて、シジュウカラの言葉でジャージャー（へびが来た！）って知らせるそうです。



わたしも、おばあちゃんの家で、地震があったとき、ママが守ってくれた。

家のパパもママも守ってくれるよ。

パパは危ないところは、だっこしてくれるよ。

巣箱に雛はいませんでした。

ええええ！

かわいそう。



たべられちゃったの？

シジュウカラは、巣やヒナが危険にさらされたとき、親のシジュウカラが擬傷行動と呼ばれる「わざと弱っているように見せる動き」をして、捕食者の注意を自分に引きつけて子供を守ることもあるそうです。今回、子供たちは、シジュウカラを通して親の愛を学ぶ機会となりました。



ハローこども園の学び

～食と環境～

近年、子どもが育つ環境が変化しており、子どもの生活空間の中に自然や公園などの遊び場が減少している一方で、テレビゲームやインターネットなど、遊びの選択肢が増えるなど、偏った体験を余儀なくされています。

また、環境と同時に子どもの食をめぐっても、発育・発達の重要な時期にありながら、栄養素摂取の偏り、朝食の欠食や十分な時間をとれない等の原因から様々な健康への影響が懸念されています。

そこで、今年度は「食と環境」に視点を当てて、園での活動を紹介していきます。

まず、環境においては、現在職員実践研修において「命の営みを感じられる環境づくりをめざして」をテーマに研修を行っています。植物や生き物などの自然体験を通して植物が匂いを放ち昆虫や野鳥などの生き物と呼び寄せる環境の中で五感を働かせて、興味関心や好奇心が育ってほしいと願っています。

食育では「保育所における食育に関する指針」における幼児期の以下の目標に従って、園内でも食育活動を行っています。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) お腹がすくリズムのもてる子ども | (4) 食事づくり、準備にかかわる子ども |
| (2) 食べたいもの、好きなものが増える子ども | (5) 食べものを話題にする子ども |
| (3) 一緒に食べたい人がいる子ども | |

また、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における教育及び保育内容の「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域において、いずれの領域にも、食に関する内容は含まれています。保護者の方とも思いを共有し共に考えていきたいと思っております。

宮野恵理子

環境学習「はるをさがそう」

環境学習では、寺田隊長を招いて、ほし組さんが春を探す活動を行いました。子供たちは、寺田隊長の話を真剣に聞き、ルールを守って春探しを楽しみました。

出会い



こんにちは。おじさんのことは、隊長とよんでね。森の友達イモリを連れて来たよ。イモリは体の中に毒を持っているけど、触っても大丈夫だよ。

イモリ

五感の話



口は何をしたらいいかな？

ハチに会ったらどうする？

逃げないと刺されちゃう。

意地悪しなければ大丈夫だよ

走って逃げるとハチも驚くから、静かに少しずつ離れてね。

注意すること



ハチ

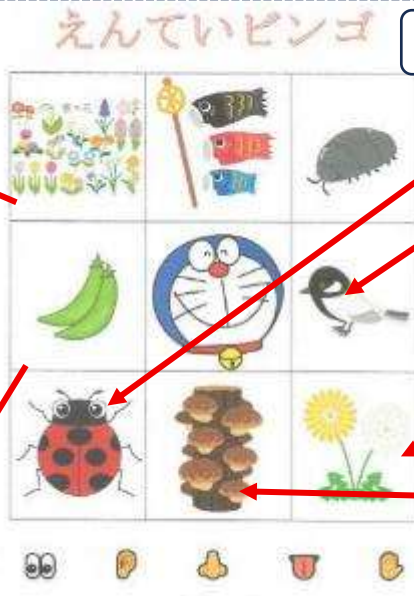
春探し

春の花！



カラスノエンドウ

寺田隊長は、五感の説明をし、五感を働かせて春探しをするように子供たちに伝えました。



えんていピンゴ

テントウムシ



シイタケ



タンポポ



子供たちは、意欲的に春探しをしました。シイタケには、みんなすぐに走って行きました。「テントウムシはアブラムシを食べるから。」とカラスノエンドウがたくさん生えている場所に走りました。いつも園庭で遊びつくしている子供たちは、どこにどんな生き物がいるか、よく知っています。